|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ユースケース名 | | OSイメージを管理する |
| 目的（ゴール） | | 仮想マシン作成時に使用するOSイメージを登録・更新・削除し、利用可能な状態で保つ |
| アクター | | クラウド管理者 |
| 開始条件（起動トリガー) | | クラウド管理者がOSイメージの登録または変更を要求する |
| 事前条件 | | OSイメージファイルが適切に用意されている 管理者がシステムにログインしている |
| 事後条件 | | OSイメージが正常に登録・更新・削除され、仮想マシン作成で使用可能な状態になる |
| 拡張点 | | バージョン管理機能との連携 OSイメージの整合性チェック（ハッシュ値検証など） |
| 関連ユースケース | |  |
| イベントフロ｜ | メインフロー | 1.管理者がOSイメージのファイルを選択し、登録情報（名称・バージョンなど）を入力  2.システムがイメージの内容と形式を検証  3.イメージがシステムに登録され、利用可能一覧に追加される |
| 代替フロー | 2a. イメージ形式が不正または破損している場合： 　→ エラーを表示し、登録を中止する |
| 例外フロー | 1.アップロード中にネットワークエラーなどで中断された場合： 　→ 処理をロールバックし、再試行を促す  2.同名・同バージョンのイメージが既に存在する場合： 　→ 上書き確認または重複エラー表示 |
| 備考 | |  |